

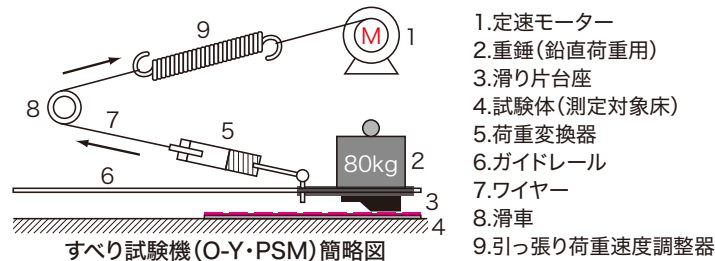
防滑性(C.S.R値)

歩行の安全性を考えたとき、滑りにくさと適度な滑りやすさがバランス良く備わっていることが重要です。

優れた防滑性を持つ床材の条件は、『水や土砂などが付いた時にも滑りにくいこと』『乾燥し清掃された状態と水や土砂が付着した状態での滑りにくさの差が小さいこと』だといえます。

【試験方法】…… JIS A 1454 高分子系張り床材試験方法「滑り性試験」

東京工業大学の小野研究所が開発したすべり試験機によるOY-PULL法にて試験を行っています。実際の歩行に最も即している試験方法と言われ、滑り片に実際に使用する履物の底を貼り付け、80kgfの荷重をのせ、18°の角度で引っ張った時に得られる最大引張り荷重を測定し、その値を載荷重量(80kg)で除した値(C.S.R値)を滑り抵抗の評価指数としました。



【試験結果】床材のすべり最適値及び許容範囲(下足床)

想定履物	すべり 測定結果	品番		すべる ◀ C.S.R ▶ すべらない	
				0.4 0.6 0.8 1.0	
紳士靴 (合成ゴム底)	○最適値 ▶許容範囲◀	動作	歩行		
			駆け出し		
			急停止		
			方向転換		
	◆乾燥状態 ◆水+ダスト	ノンスキッド・シート	PX-751～753	0.51 ◆ 0.72 ◆	
			PX-820～822	0.61 ◆ 0.85 ◆	
			PX-870・871	0.61 ◆ 0.85 ◆	
			PX-881～883	0.54 ◆ 0.77 ◆	
			PX-801～804	0.54 ◆ 0.77 ◆	
			PX-810～813	0.61 ◆ 0.85 ◆	
			PX-840～842	0.61 ◆ 0.85 ◆	
			PX-580～583	0.56 ◆ 0.73 ◆	
			PX-570～572	0.58 ◆ 0.88 ◆	
			PX-590・591	0.54 ◆ 0.72 ◆	
			PX-530～532	0.58 ◆ 0.77 ◆	
			PX-550	0.57 ◆ 0.80 ◆	
			PX-610～613	0.65 ◆ 0.86 ◆	
			PX-201～203	0.61 ◆ 0.93 ◆	
			PX-951～953	0.64 ◆ 0.79 ◆	
			PM-981～983	0.53 ◆ 0.79 ◆	
			ノンスキッド・ステップ	PX-8601～8694	0.61 ◆ 0.85 ◆
				PX-8901～8934	0.63 ◆ 0.79 ◆
		一般的シート	※参考: エスリュウム・ウッドⅡ	0.50 ◆ 0.81 ◆	

防滑性の判断ポイント ①『水+ダスト』状態での数値が高いこと ②『水+ダスト』と『乾燥』状態での数値差が小さいこと

※当社基準による評価です。上記の値は測定値であり保証値ではありません。